

証券コード 4471

# 株主の みなさまへ

## 第94期

平成29年4月1日～平成30年3月31日



“Performance”  
Through Chemistry

### CONTENTS

株主のみなさまへ/財務ハイライト/	TOPICS/CSR通信	7
TOP INTERVIEW	財務諸表	8
特集	会社概要/株式の概況	9-10
セグメント別 営業の概況		5-6



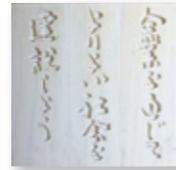
## 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご高配をたまり、厚くお礼申し上げます。平成30年3月31日をもちまして、当社第94期の事業年度を終了いたしましたので、ここにその概況をご報告申し上げます。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご協力をたまりますようお願い申し上げます。

平成30年6月

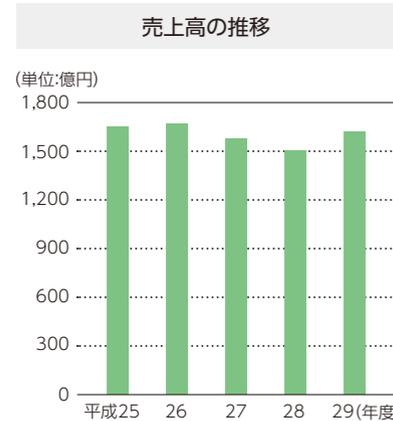
代表取締役社長 宇藤 孝夫



[社是]  
企業を通じて  
よりよい社会を建設しよう



## 財務ハイライト(連結)



### Q 当期の事業環境について教えてください。

**A** 当期におけるわが国経済は、堅調な設備投資に加え個人消費の持ち直しや輸出の増加により、緩やかな回復基調が続いています。また、堅調な米国経済に加え欧州経済の拡大ペースが緩やかに加速し、中国経済の減速に歯止めがかかる等、わが国を取り巻く環境は順調に推移しました。

化学業界におきましては、下落傾向にあった原料価格が上昇していることに加え、安定していた為替相場も円高に転ずる等、事業環境は厳しさを増しつつあります。

### Q 当期の業績について教えてください。

**A** このような環境下における当期の売上高は、販売量の増加や原料価格上昇に伴う販売価格の改定などにより、1,616億9千2百万円(前期比7.7%増)となりました。利益面では、販売量は増加したものの原料価格上昇に伴う売買スプレッド縮小等により、営業利益は119億9千9百万円

(前期比12.1%減)、経常利益は138億6千6百万円(前期比9.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は92億7千2百万円(前期比9.0%減)となりました。

### Q 当期の配当金について教えてください。

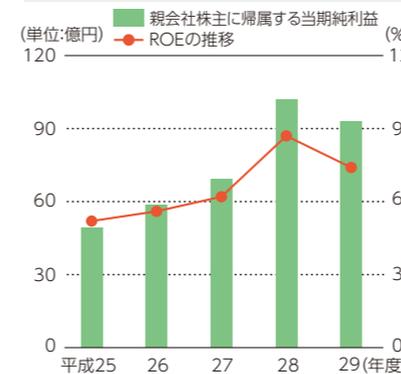
**A** 当社は、連結配当性向30%以上をめどに、安定配当を実施することを配当の基本方針としております。期末配当金につきましては、昨年12月に実施いたしました中間配当金と同じく、1株当たり55円とさせていただきます。これにより、当期の年間配当金は1株当たり110円となります。

### Q 最後に株主のみなさまへ一言お願いします。

**A** 新たに策定いたしました第10次中期経営計画(P.3-4をご参照ください)のもと、社会に貢献するユニークなグローバル企業を目指してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご協力をたまりますようお願い申し上げます。

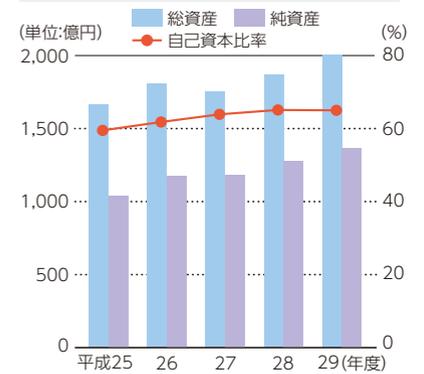
### 親会社株主に帰属する当期純利益・ROEの推移



### \*1株当たり当期純利益の推移



### 総資産・純資産・自己資本比率の推移



\*当社は、平成28年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、平成25年度の期首に株式併合が行われたものと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

# 第10次中期経営計画 “New Sanyo for 2027”

当社グループは、社是『企業を通じてよりよい社会を建設しよう』のもと、顧客とともに価値ある製品を創出する「グローバルに、ユニークな優良企業グループ」を目指し、2015年度から2018年度の4年間を計画期間とする第9次中期経営計画を推進してまいりました。

しかし、原料価格の変動やSAP(高吸水性樹脂)事業の競争激化等、経営計画策定時から外部環境が急激に変化したことに加え、事業本部制の導入や他社との協業プロジェクトの発足など、社内環境も大きく変化しております。刻々と変化する内外環境に柔軟に対応するため、第9次中期経営計画を1年前倒しで終了し、新たに第10次中期経営計画をスタートいたしました。

## 第10次中期経営計画

2027年度におけるありたい姿「全従業員が誇りをもち、働きがいを感じるユニークでグローバルな高収益企業に成長し、社会に貢献する」の実現を目指して、2018年度から2020年度までの3年間を計画期間とする第10次中期経営計画“New Sanyo for 2027”を策定いたしました。本中計では、「変える。」をスローガンに、様々な変革に取り組みます。

**【基本理念】** 様々な界面等で活躍する機能化学品を通じて、社会に貢献するユニークなグローバル企業

### 10年後のありたい姿に向け、 変える3年間

第10次は10年後への第一歩

2017年度実績(現状)		2020年度(目標)	
連結売上高	1,616億円	連結売上高	1,800億円
連結営業利益	119億円	連結営業利益	180億円
連結営業利益率	7.4%	連結営業利益率	10%
連結ROE	7.4%	連結ROE	10%

New Sanyo for 2027

2020年度

### 「変える。」の先へ

三洋化成グループが目指す10年後のありたい姿

全従業員が誇りをもち、働きがいを感じるユニークでグローバルな高収益企業に成長し、社会に貢献

2027年度(ありたい姿)	
連結売上高	2,500億円
連結営業利益	350億円
連結営業利益率	14%
連結ROE	12%

2021年度以降

2027年度

## 1.スローガン「変える。」

ありたい姿を実現するため、最初の3年間で以下の観点に基づき、変革に取り組む。

- 高付加価値製品へのシフト
- 顧客目線でのスピードアップ
- 慣習(ムダ・ムリ・ムラ)の排除
- 柔軟で多様な考え方・働き方へシフト
- 風通しの良い風土醸成

## 2.事業戦略

### 【既存事業】

(1)新たな“弾込め”を行う事業(界面活性剤、潤滑油添加剤、樹脂添加剤 など)

- 市場全体を見据えたマーケティング
- ソリューション提案型の開発テーマ立案
- コア技術の組み合わせによる開発実行
- 研究ステージゲートと連携した設備設計
- 現地代理店や海外テクニカルラボを活用したグローバル展開

(2)経営環境の変化に伴い、スピード感を持って変化させている事業

- ①PPG事業 ●高付加価値製品へのシフト ●事業のコンパクト化 ●GCポリオール\*の立ち上げ
- ②SAP事業 ●拡大する市場への対応 ●コストダウン等による収益改善

\*GCポリオール:タイでポリオールの製造・販売を行う、当社とPTT Global Chemical Public Company Ltd.及び豊田通商株式会社との合弁会社

### 【新規事業】

近い将来、新たな事業領域を形成することが期待できるアイテムに、積極的に経営リソースを投入。

(1)エネルギー・エレクトロニクス関連事業

- 新型リチウムイオン2次電池 ●車載エレクトロニクス用材料 など

(3)その他事業

- スキンケア用化粧品素材の開発 など

(2)バイオ・メディカル関連事業

- 新規医薬品(DDS)関連素材 ●シルクエラスチン など

## 3.事業戦略実行へ向けた仕組みの構築

- 収益性の高い新製品開発のための仕組み構築
- 生産技術力の強化
- 経営リソースの再配分を推進するための人事制度改革
- グローバル化の推進
- “人”中心の経営の深化
- 全社横断型プロジェクトの設置

## 4.研究開発投資と設備投資計画

(1)研究開発投資

基盤事業強化、新規事業創出に向け、3年間で約180億円を予定。

(2)設備投資

3年間で350億円を予定。当社の強みが発揮できる事業へと投資。商品構成の変化に伴い、既存設備の効率的活用も推進。

# 変える。

New Sanyo for 2027

# セグメント別 営業の概況

## 生活・健康産業関連分野

生活産業関連分野は、ヘアケア製品用界面活性剤が好調に推移したものの、液体洗濯洗剤用界面活性剤の需要が一部製品において減少したため、売り上げは横ばいとなりました。

健康産業関連分野は、高吸水性樹脂の海外での拡販及び新製品の拡販効果が奏功し売り上げは増加しましたが、原料価格の上昇に伴い売買スプレッドが縮小したため大幅な減益となりました。



ヘアケア製品に

〈主な製品〉

- 洗剤・洗浄剤用界面活性剤
- ヘアケア製品用界面活性剤
- 高吸水性樹脂 ●医薬品原料

■売上高 **599億5千万円**  
(前期比8.1%増)

■営業利益 **11億3千2百万円**  
(前期比68.5%減)

## 石油・輸送機産業関連分野

石油・輸送機産業関連分野は、自動車内装表皮材用ウレタンビーズは横ばいに推移しましたが、潤滑油添加剤が国内外ともに拡販が進んだため、売り上げは好調に推移しました。



エンジンオイルに

〈主な製品〉

- 自動車内装表皮材用ウレタンビーズ
- ポリウレタンフォーム用原料
- 潤滑油添加剤

■売上高 **411億1千5百万円**  
(前期比9.7%増)

■営業利益 **27億1千9百万円**  
(前期比28.8%増)

## プラスチック・繊維産業関連分野

プラスチック産業関連分野は、永久帯電防止剤が国内外ともに売り上げを大幅に伸ばしたことに加え、特殊グラビアインキ用樹脂の販売が大幅に増加したため、好調に推移しました。

繊維産業関連分野は、炭素繊維用薬剤が海外を中心に順調に売り上げを伸ばし、合成皮革・弾性繊維用ウレタン樹脂も順調でしたが、ガラス繊維用薬剤

は低調であったため、売り上げは横ばいとなりました。



航空機などに用途展開されている炭素繊維の製造に

〈主な製品〉

- 永久帯電防止剤
- 顔料分散剤
- 樹脂改質剤
- 塗料用樹脂
- 炭素繊維用薬剤
- ガラス繊維用薬剤

■売上高 **221億9千1百万円**  
(前期比4.9%増)

■営業利益 **39億6千4百万円**  
(前期比5.1%減)

石油・輸送機産業関連分野

25.4%

生活・健康産業関連分野

37.1%

セグメント別  
売上高  
比率

情報・電気電子産業  
関連分野

12.7%

環境・住設産業  
関連分野他

11.1%

プラスチック・繊維産業  
関連分野

13.7%

## 情報・電気電子産業関連分野

情報産業関連分野は、重合トナー用ポリエステルビーズ及び粉砕トナー用バインダーの需要が堅調であったため、売り上げは順調に推移しました。

電気電子産業関連分野は、UV・EB硬化樹脂等の好調な需要により、売り上げを伸ばしました。



コピー機のトナーに

■売上高 **204億8千7百万円**  
(前期比5.8%増)

■営業利益 **32億7百万円**  
(前期比15.6%増)

〈主な製品〉

- 重合トナー中間体
- トナーバインダー
- アルミ電解コンデンサ用電解液
- 電子部品製造工程用薬剤

## 環境・住設産業関連分野他

環境産業関連分野は、高分子凝集剤の市況が引き続き低迷しましたが、その原料であるカチオンモノマーの需要が好調に推移したため、売り上げを伸ばしました。

住設産業関連分野は、土木・建築工事向けセメント用薬剤、家具・断熱材などに用いられるポリウレタンフォーム用原料の国内向けが好調であったため、

売り上げを伸ばしました。



ソファに

■売上高 **179億4千8百万円**  
(前期比7.5%増)

■営業利益 **9億7千4百万円**  
(前期比1.2%減)

〈主な製品〉

- 廃水処理用高分子凝集剤
- 家具・断熱材用ポリウレタン原料
- 建築シーラント用原料

## 1 画期的なポリオレフィン樹脂用改質剤を開発

当社は、ポリプロピレンやポリエチレンなどのポリオレフィン樹脂に練り込むだけで、表面処理なしでも樹脂表面をぬれやすくし、持続的に塗装・接着性を付与することができる画期的な樹脂改質剤『メルアクア 350L』を開発しました。

ポリオレフィン樹脂は、成形加工や耐薬品性に優れ、軽量かつ安価であることから幅広い分野で使用されています。しかし、ポリオレフィン樹脂の表面はぬれにくく、塗装・接着が困難でした。そのため、ポリオレフィン樹脂に塗装・接着する際は、特殊な表面処理をしなければなら

りませんでした。

この度開発した『メルアクア 350L』は、ポリオレフィン樹脂に練り込むだけで、耐熱性や樹脂強度をほとんど損なうことなく、ぬれやすくする効果を長期間にわたって発揮し、塗装・接着性を向上することができます。

今後は、自動車内装部材向けなど幅広い用途に向けた展開を行い、2020年までの製品化を目指します。加えて、曇り止めやセルフクリーニングなどの新たな機能を付与することで、『メルアクア』のラインアップを拡充し、様々なニーズにお応えしてまいります。

## 2 バイオベンチャー企業のDelta-Fly Pharma社へ出資

当社は、2018年3月に、新規抗がん剤を開発するバイオベンチャー企業であるDelta-Fly Pharma株式会社(以下「DFP社」)の第三者割当増資を引き受け、あわせて共同開発契約を締結しました。

DFP社は、患者の身体的・経済的負担が少ない抗がん剤の実用化を進めているバイオベンチャー企業で、ドラッグデリバリーシステムを用いた新規抗がん剤の開

発に注力しています。当社とDFP社、それぞれが保有する技術を融合させた副作用の少ない新規抗がん剤の開発を進めており、この開発をさらに加速すべく、このたび協力体制を強化しました。

当社では、今後も既存のビジネスの枠を超え、新たな事業を展開していきます。

## 社会貢献活動

当社は2017年3月に社会貢献活動に関する取り組みの姿勢をより明確にするため、「社会貢献活動方針\*」を策定しました。これからも、この方針に基づき様々な活動を継続していきます。

\*社会貢献活動方針:三洋化成グループは、「良き企業市民」として、豊かな社会の実現とその持続的な発展に貢献します。



温室効果ガス削減により京都市から「特別優良事業者」として表彰



「三洋化成の森」づくり活動



小学校への化学の出張授業

## 財務諸表

### 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当連結会計年度 (平成30年3月31日)	増減金額
資産の部			
流動資産	85,334	90,123	4,789
固定資産	101,529	110,001	8,472
有形固定資産	63,530	69,883	6,353
無形固定資産	2,788	2,782	△6
投資その他の資産	35,210	37,335	2,124
資産合計	186,863	200,125	13,261

負債の部			
流動負債	44,464	50,197	5,732
固定負債	14,747	13,658	△1,089
負債合計	59,212	63,855	4,642
純資産の部			
株主資本	108,197	115,037	6,839
その他の包括利益累計額	13,405	15,062	1,656
非支配株主持分	6,047	6,170	123
純資産合計	127,651	136,270	8,619
負債及び純資産合計	186,863	200,125	13,261

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てております。

### ポイント

#### 連結貸借対照表について

流動資産については現金及び預金が減少したものの、期末日休日の影響による受取手形及び売掛金の増加等により前期末比47億8千9百万円増、固定資産については建設仮勘定の増加等により前期末比84億7千2百万円増となり、資産合計は前期末比132億6千1百万円増の2,001億2千5百万円となりました。

流動負債については期末日休日の影響による買掛金の増加等により前期末比57億3千2百万円増、固定負債については長期借入金の減少等により前期末比10億8千9百万円減となり、負債合計は前期末比46億4千2百万円増の638億5千5百万円となりました。

純資産については利益剰余金の増加やその他有価証券評価差額金の増加等により前期末比86億1千9百万円増の1,362億7千万円となりました。

### 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)	増減金額
売上高	150,166	161,692	11,526
売上総利益	35,437	34,041	△1,396
営業利益	13,647	11,999	△1,647
経常利益	15,341	13,866	△1,475
税金等調整前当期純利益	13,854	12,144	△1,709
当期純利益	10,834	9,365	△1,469
親会社株主に帰属する当期純利益	10,192	9,272	△920

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てております。

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,416	15,710
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,198	△14,198
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,043	△7,328
現金及び現金同等物に係る換算差額	△750	55
現金及び現金同等物の増加額	4,423	△5,760
現金及び現金同等物の期首残高	19,323	23,138
連結子会社の決算期変更に伴う増減額	△607	—
現金及び現金同等物の期末残高	23,138	17,377

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てております。

#### 連結損益計算書について

販売量の増加や原料価格上昇に伴う販売価格の改定等により前期比で増収となりましたが、売買スプレッドの縮小等により前期比で減益となりました。

#### 連結キャッシュ・フロー計算書について

営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前純利益や減価償却費等により、157億1千万円の資金の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは固定資産の取得による支出等により、141億9千8百万円の資金の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは借入金の返済、配当金の支払による支出等により、73億2千8百万円の資金の減少となりました。

現金及び現金同等物は前期末比57億6千万円減の173億7千7百万円となりました。

# 会社概要／株式の概況

## 概況 (平成30年3月31日現在)

創立: 昭和24年11月1日  
 資本金: 13,051,179,427円  
 従業員数: 1,280名(連結2,053名)  
 関係会社: 国内9社、海外15社

## 株式総数及び株主数 (平成30年3月31日現在)

発行可能株式総数: 51,591,200株  
 発行済株式総数: 23,534,752株  
 株主数: 5,507名

## 大株主 (平成30年3月31日現在)

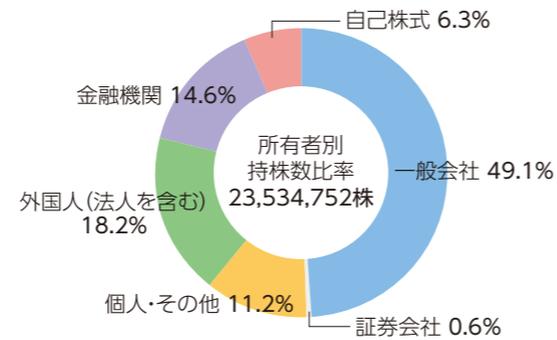
株主名	株式数(千株)	持株比率(%)
豊田通商株式会社	4,286	19.4
東レ株式会社	3,826	17.4
株式会社日本触媒	1,105	5.0
JXTGホールディングス株式会社	1,061	4.8
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	953	4.3
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	726	3.3
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE SSD00	695	3.2
三洋化成従業員持株会	464	2.1
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	386	1.8
GOVERNMENT OF NORWAY	313	1.4

(注) 1. 上記のほかにも、自己株式1,488千株があります。  
 2. 持株比率は、発行済株式総数から自己株式を控除して算出しております。

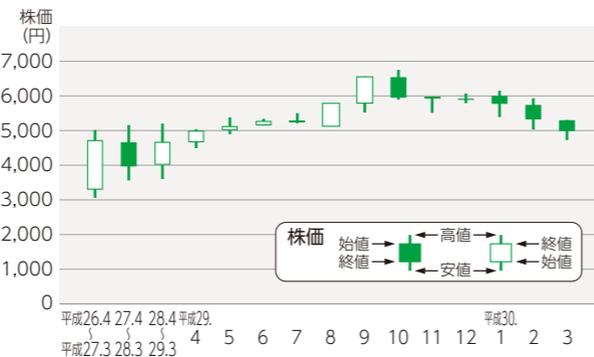
## 事業所 (平成30年3月31日現在)

本社(京都市東山区)  
 東京支社(東京都中央区)、大阪支社(大阪市中央区)  
 営業所: 東京、大阪、名古屋、北陸(富山市)、  
 中国(広島市)、西日本(福岡市)  
 研究所: 本社、桂(京都市)  
 工場: 名古屋(愛知県東海市)、衣浦(愛知県半田市)、  
 鹿島(茨城県神栖市)、京都

## 株主構成 (平成30年3月31日現在)



## 株価の推移



(注) 1. 当社は、平成28年10月1日付で普通株式5株を1株の割合で株式併合しております。  
 これに伴い、平成26年4月1日に株式併合を実施したと仮定して株価の推移を表示しております。  
 2. 株価は東京証券取引所によるものです。

## 役員 (平成30年6月22日現在)

取締役 取締役会議長(社外)  
**上野 観**  
 代表取締役社長 兼執行役員社長  
**安藤 孝夫**  
 取締役 兼専務執行役員  
**樋口 章憲**  
 経営企画担当兼営業第二部門担当兼潤滑油添加剤  
 事業本部長兼石油・建設・環境本部長  
 取締役 兼常務執行役員  
**鳴瀧 英也**  
 営業第一部門担当兼バイオ・メディカル  
 事業本部長兼東京支社長  
 取締役 兼常務執行役員  
**前田 浩平**  
 研究部門担当兼研究業務本部長  
 兼本社研究所長  
 取締役 兼常務執行役員  
**太田 篤志**  
 生産部門担当兼生産本部長  
 兼サンケミカル株式会社代表取締役社長

取締役 兼執行役員  
**下南 裕之**  
 SDPグローバル株式会社代表取締役社長  
 取締役 兼執行役員  
**山本 真也**  
 企業倫理担当兼間接部門担当兼事務本部長  
 取締役(社外)  
**相京 重信**  
 取締役(社外)  
**白井 文**  
 監査役(社外・常勤)  
**大志万 俊夫**  
 監査役(常勤)  
**小寺 昭芳**  
 監査役(社外)  
**清水 順三**  
 監査役(社外)  
**佐藤 宏之**

常務執行役員  
**鶴田 博之**  
 サンプロ株式会社代表取締役社長  
 常務執行役員  
**金谷 英毅**  
 経営企画室長  
 執行役員  
**木村 昌史**  
 生活・繊維本部長  
 執行役員  
**田中 敬次**  
 事業研究第一本部長  
 兼SDPグローバル株式会社取締役  
 執行役員  
**徳本 祐一**  
 タイ事業推進室長  
 執行役員  
**岡田 英治**  
 画像材料事業本部長

執行役員  
**北村 充也**  
 購買本部長  
 執行役員  
**福井 正弘**  
 事業研究第二本部長兼柱研究所長  
 執行役員  
**藤井 雄一**  
 生産技術本部長  
 執行役員  
**須崎 裕之**  
 国際事業推進本部長  
 執行役員  
**原田 正大**  
 電子・樹脂・色材本部長

(注) 取締役 上野 観氏、相京 重信氏、白井 文氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、届け出ております。

## 三洋化成工業Webサイトのご案内

<https://www.sanyo-chemical.co.jp/>

最新トピックスをはじめ製品情報やIRに関する情報、コーポレート・ガバナンス、CSRについても詳しく紹介しております。  
 また、当社が応援する女子プロゴルファー セキ・ユウティン選手とセキ・ユウリ選手の特設サイトも設けていますので、是非ご覧ください。



三洋化成工業

検索

QRコードからも当社ホームページがご覧いただけます。



## 株主メモ

事業年度 / 毎年4月1日から翌年3月31日まで

期末配当基準日 / 3月31日

中間配当基準日 / 9月30日

定時株主総会 / 毎年6月

株主名簿管理人 / 三井住友信託銀行株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
(電話照会先 郵便物送付先)  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
電話0120-782-031(フリーダイヤル)  
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び  
全国各支店で行っております。

公告掲載 / 当社ホームページ  
<https://www.sanyo-chemical.co.jp/>  
上場証券取引所 / 東京証券取引所市場第一部(コード番号 4471)

### 住所変更、配当金の受取方法の指定、 単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様が口座を開設されている証券会社にお申し出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

### 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

### 配当金計算書について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましては、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

## 三洋化成工業株式会社

本社

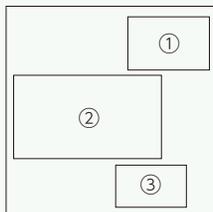
〒605-0995 京都市東山区一橋野本町11-1 TEL:075-541-0255(総務ダイヤルイン)

ホームページアドレス <https://www.sanyo-chemical.co.jp/>



レスポシブルケア®

当社は環境と安全の確保を経営の優先的重要課題としています。



〈表紙の写真について〉

- ①平岡八幡宮 [京を歩けば No.341「空海さんと縁深き花の宮へ 平岡八幡宮」]
- ②上賀茂神社 [京を歩けば No.340「清き新年 清き馬 上賀茂神社」]
- ③赤山禅院 [京を歩けば No.338「仲秋のおまじない 赤山禅院」]

当社ホームページでは、多彩な執筆陣が京都のさまざまな一面について語る「京を歩けば」を掲載しています。